

在宅看護学概論	2年・前期	1単位	教授 石原 美由紀 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310852

1. 授業のねらい・概要

本科目は、在宅看護の理念と目的、在宅看護が必要とされる歴史や社会的背景、看護対象について学ぶ。さらに、在宅看護に関わる法制度や社会資源、在宅看護を提供する場、関係機関、職種の連携のあり方などの在宅看護の基本を学ぶ。

2. 到達目標

1. 在宅看護の目的と概念を理解する。
2. 在宅看護に対する社会的ニーズを理解する。
3. 地域で療養する人の持つ多様な特性を理解する。
4. 介護保険制度とケアマネジメントを理解する。
5. 地域で療養する人を支える社会資源との連携の必要性を理解する。

3. 授業の進め方

講義を中心に行うが、講義内容を学生がまとめ復習するようにする。さらにグループワークの機会をつくり、主体的に学習し、在宅看護を実践する将来を見据えて看護学を学ぶ機会とする。

4. 授業計画

1. 在宅看護の概念と目的（石原美由紀）	4月16日（火）5限
2. 在宅療養を支える訪問看護（石原）	4月26日（金）1限
3. 地域包括ケアシステムにおける在宅看護①（石原） 地域包括ケアシステム・多職種・多機関との連携	5月10日（金）1限
4. 介護保険制度（橋本いずみ）	5月24日（金）1限
5. 包括ケアシステムにおける在宅看護②（橋本） ケアマネジメントと多職種・多機関との連携	6月4日（火）5限
6. 在宅療養者と家族の理解（石原）	6月11日（火）5限
7. 在宅療養者と家族への支援（石原）	6月18日（火）5限
8. 介護保険制度以外の社会保障制度（石原）	6月28日（金）1限

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70％，課題レポート 30％で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：臺有桂・石田千絵・山下瑠理子（2019）：ナースィング・グラフィカ 在宅看護論①
地域療養を支えるケア メディカ出版
その他参考文献は、授業中に適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間以上の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

在宅看護学実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックフィードバック方法

試験実施の際に解答等を説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。